

第52回 『あいおの会』

- 失語症友の会 -

1、「失語症友の会」とは

失語症とは、脳卒中や事故などの後遺症によって、言葉を操る能力に障害が残った状態をいい、聞く・話す・読む・書くことすべてに影響を及ぼします。このような失語症の方に対して、言語聴覚士が中心となり、個別の訓練・支援をおこなっております。

失語症の多くの方は、日常の何気ない会話が不自由になり、仕事や趣味活動など、社会活動への参加が難しくなります。そこで、熱海・伊東地区では、失語症の方々のコミュニケーションの機会を作り、交流を深めるという目的で、平成18年7月より「失語症友の会」を開催しております。会には国際医療福祉大学熱海病院と熱海所記念病院の言語聴覚士や患者様のご家族も参加しております。

2、第52回「あいおの会」

平成28年8月7日(日)国際医療福祉大学熱海病院にて、失語症患者様13名とご家族様6名、言語聴覚士10名が参加し、29名の方々が集まりました。前回に引き続き大人数の参加でとても盛り上がりましたね。

今回は、「魚釣りクイズ」「風鈴作り」の2つを行いました。魚釣りクイズでは、釣った魚に書いてあるクイズに1人ずつ答えました。クイズの問題は、難しいものからユニークなものまでありましたね。風鈴作りでは、それぞれ個性の出る風鈴が出来上がりました。鈴の音を聴いて、少しでも涼しい気分を感じてもらえたらと思います。

最後には、「海」と「少年時代」を歌いました♪中には、この日のために歌の練習をしてきた方がいらっしゃり、とても驚きました。次回も、たくさんの方がご参加されることを楽しみにしています。

次回は、**平成28年11月6日(日)13時**から、遠足を予定しております。詳細については、別にご連絡をさせていただきますので、宜しくお願い致します。



大きい魚が釣れた・・・!!!



個性豊かな風鈴が出来ました♪